

令和 8 年度 ソフト系 IT 企業実態調査結果概要

(一社) 島根県情報産業協会 令和 8 年 9 月

■調査概要

調査対象：協会会員社およびソフトビジネス研究会会員社等

有効回答社：78 社（全回答 82 社）

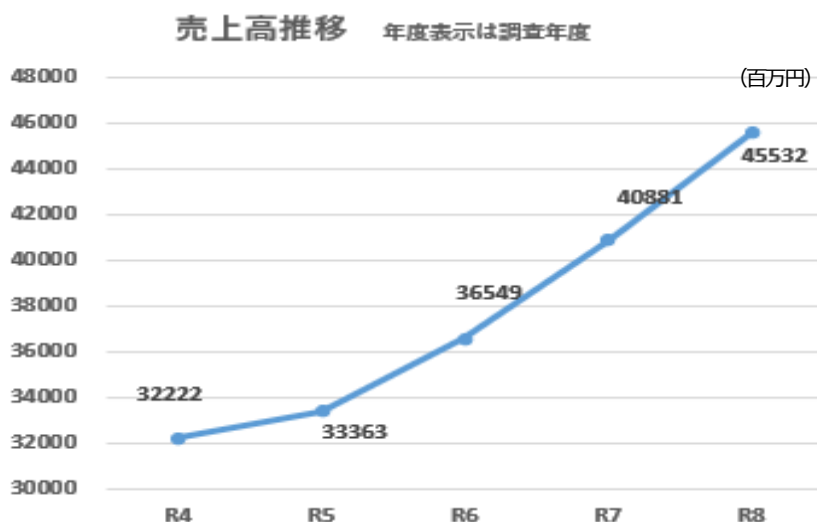
売上に関する有効回答社（IT）：67 社

経常利益に関する有効回答社（IT）：61 社

■ 1. 県内 IT 産業の現状（要点）

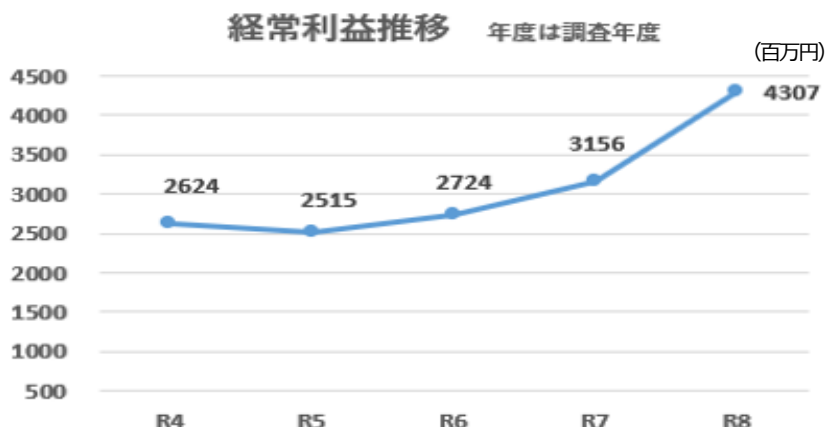
・ 売上高：45,532 百万円（前年比+11.4%）

過去最高を更新し、中期的な成長軌道を維持。



・ 経常利益：4,307 百万円（前年比+36.5%）

収益構造の質的改善が進み、企業の競争力が向上。

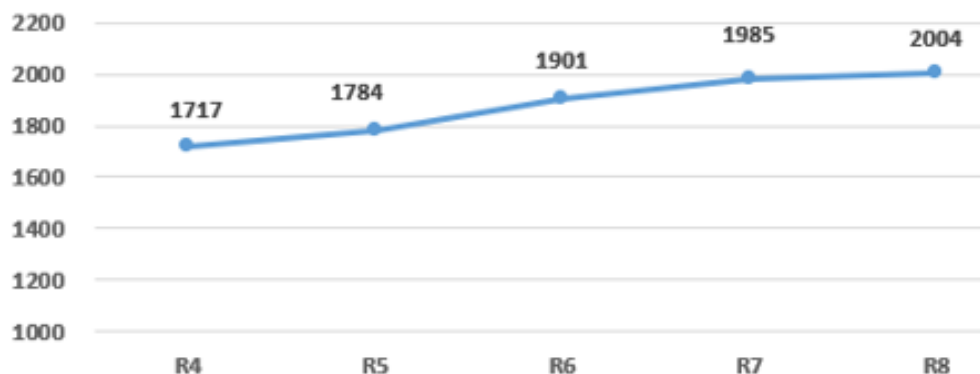


- ・ 従事者数：2,004 名（前年比+19 名）

大規模企業の成長と中規模企業の高い生産性が産業全体を牽引。

県内IT従事者数推移 年度は調査年度

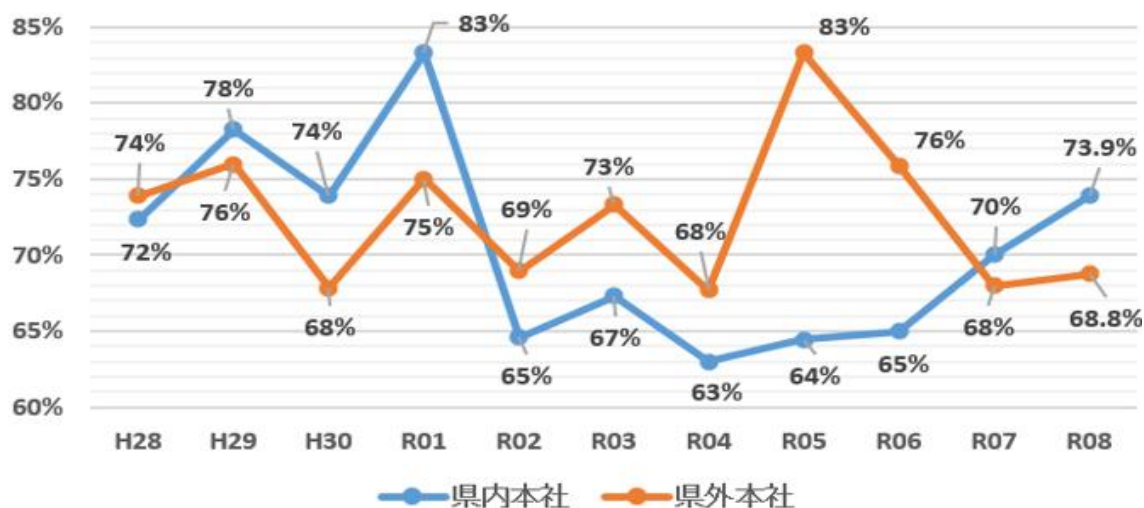
(人)



■ 2. 技術者不足の状況

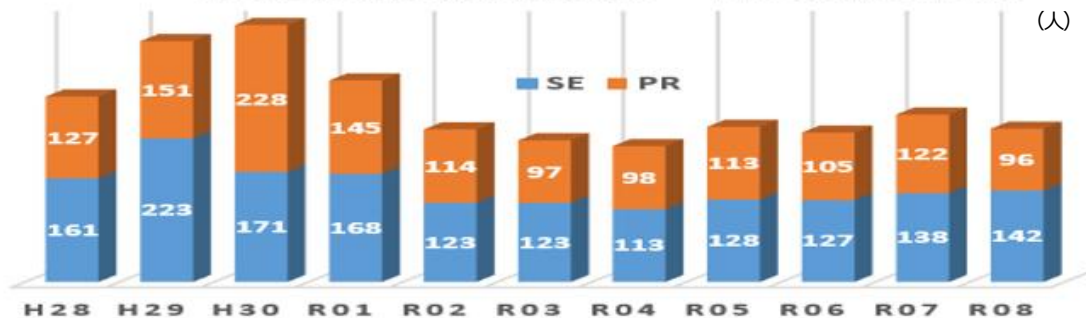
- ・ 技術者不足感：約 7 割
特に SE 領域で不足が顕著。
- ・ DX 需要の増加や開発高度化により、高度人材の確保が産業成長の鍵となっている。
- ・ 県内本社企業で不足感が強く、採用競争力の差が構造的課題に。

技術者不足感の推移不足社の割合 年度は調査年度



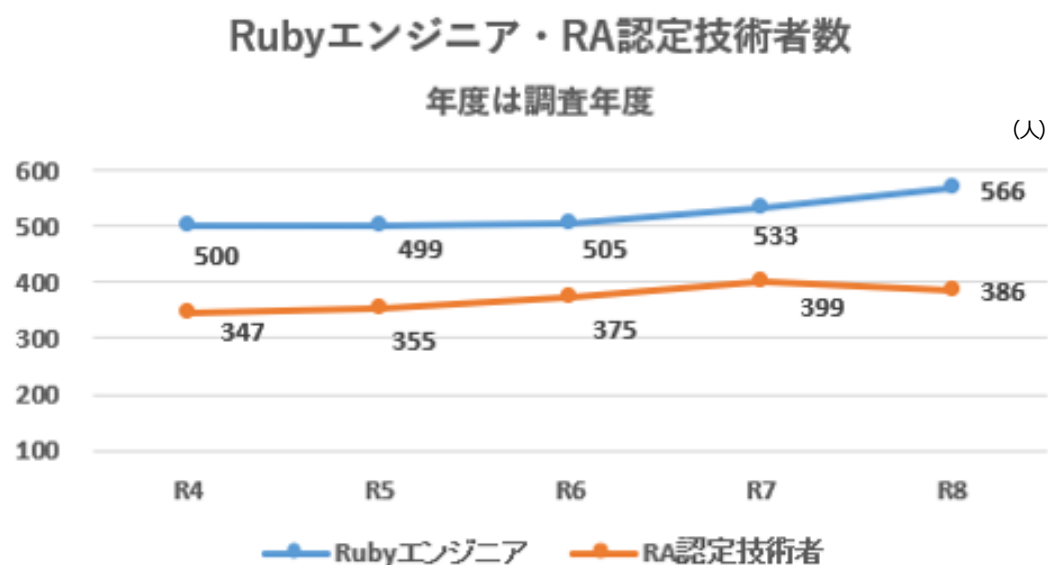
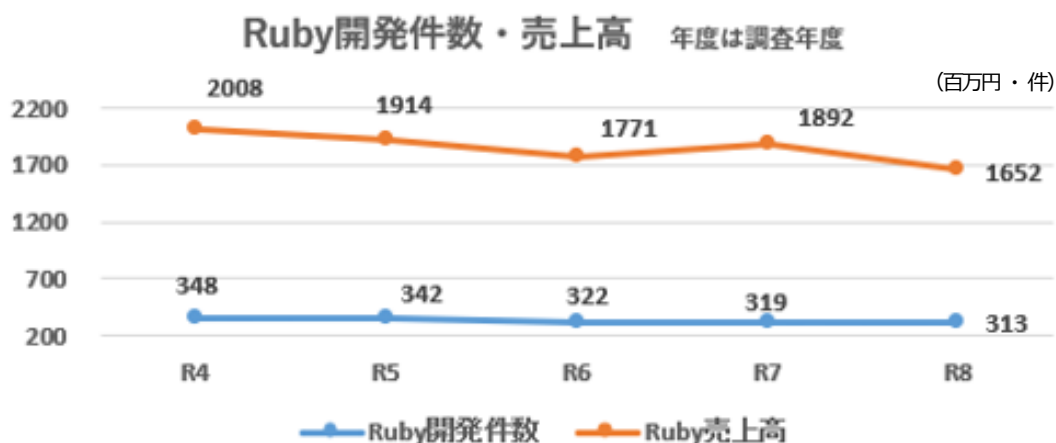
不足技術者数推移 年度は調査年度

(人)



■ 3. Ruby 関連（地域施策との連動）

- 非 IT 企業を含む Ruby エンジニア総数は 566 人（前年比 33 人増）となり、3 年連続で増加。若手人材の流入により人材の裾野が拡大している。
- Ruby は Web サービス開発やクラウド技術を支える基盤技術として定着している。
- 松江市・出雲市への開発拠点の集積が進み、地域の強みとして機能している。
- Ruby アソシエーション（RA）認定技術者数は 386 人（前年比 13 人減）となったが、実務重視の傾向が強まっており、企業内研修や教育機関との連携による人材の高度化が期待される。
- IT 企業における Ruby によるシステム開発案件数は 313 件（前年比 1.9%減）、開発売上高は 17 億円（同 12.7%減）となった。
- 一方で、案件需要は引き続き安定しており、高度化・大規模化による付加価値向上の余地が大きい分野である。



■ 4. 企業からの主な意見（自由記載）

- AI・DX 推進、人材育成、地域企業のデジタル化支援への要望が多数。
- 生成 AI の普及に伴い、AI 活用研修、クラウド、UI/UX、セキュリティなど **先端分野の研修需要が増加**。
- 県内 IT 企業は、地域 DX を支える **中核的存在としての役割が一層期待**されている。

■ 5. 総括

県内ソフト系 IT 産業は、売上・利益ともに過去最高を更新し、安定した成長を続けています。

一方で、高度人材不足が構造化しており、DX 推進や産業高度化に向けた人材育成が喫緊の課題です。

Ruby 人材は増加傾向にあり、松江市・出雲市を中心とした地域の強みとして、今後の産業競争力向上に寄与することが期待されます。